

メタルジャパン、鉄鋼各社が出展

極薄二相ステンレス

0.5ミリ未満 SUS 304 代替期待

総合ステンレス加工メーカーの明道メタル(本社新潟県燕市、吉村陽三社長)は、板厚0.5ミリ未満の極薄二相ステンレス「MS S2120」を開発し、8日から始まったメタルジャパンで初展示した。価格安定性、高強度、高耐食性に優れ、金ステンレス(NSSC)が開発した大入熱溶接可能なSUS304代替二相ステンレス「NCSOC2120」を母材とし、板厚0.5ミリ未満の精密圧延材として今後拡販する。



明道メタルはアベルと並んで出展

と並んで、メタルジャパンにブースを出展している。ステンレス黒色発色材料を得意とするアベルは、母材供給を明道メタルから受けており、剛く美しい黒を謳い文句に、スピーカークリル、スマートフォンカバーなど意匠性の高い用途に採用を広がっている。

を生かした電解発色方法で鏡面ヘアライン、バイレシジョン仕上げの平板材として、板厚0.4ミリ、最大幅1219ミリ、長さ4000ミリに対応する。コイル材では最大幅3000ミリ、板厚0.1ミリ・0.4ミリに対応する。

高剛性・ゼロ膨張インバー合金展示

新報国製鉄

開発型特殊鋼・鋳鋼メーカーの新報国製鉄は、8日から始まったメタルジャパンで新開発したヤング率(剛性)140GPaの高剛性インバー合金「IC-EX1」と、膨張係数ゼロのインバー合金「IC-EX2」を紹介し、来場者の注目を集めた。



新報国製鉄は高剛性インバー合金を展示

クライオ(深冷)処理を開始している。角丸鋼などの鍛造品、板までマルテンサイト化しない耐環境性があ。ヤング率が極めて高

グループで一貫提案

日豊産業、素材から加工品

日豊産業は、5月26-29日に東京ビッグサイトで開催される「2015 NEW 環境」にブースを出展する。環境システム事業部が主体となって行うもので、出展内容は、クリーンリサイクルシステム「可搬式イオン交換塔」(パネル、デモ運転)、SRLS system「表面処理洗浄水回収システム」(パネル、デモ運転)、アクアパック、MRバック「純水製造装置」(展示、パネル)など。

新日本電工は、5月26-29日に東京ビッグサイトで開催される「2015 NEW 環境」にブースを出展する。環境システム事業部が主体となって行うもので、出展内容は、クリーンリサイクルシステム「可搬式イオン交換塔」(パネル、デモ運転)、SRLS system「表面処理洗浄水回収システム」(パネル、デモ運転)、アクアパック、MRバック「純水製造装置」(展示、パネル)など。

日本製造「LEX-ZERO」

伸線・圧延加工品も

日本製造はメタルジャパン会場で熱膨張ゼロの合金材料「LEX-ZERO」を展示し、鍛造ブロック材(400×4400×1500)在庫により、短納期が可能になった。伸線加工品(径1.0ミリ)・圧延加工品(板厚0.1ミリ)も展示し、新たな需要を見据える。



ゼロ膨張線材

鉄文化財フォーラム

鉄文化財にみる日本の独自技術の学術フォーラム(日本鉄鋼協会、鉄鋼研究調査委員会)は東京・茅場町の鉄鋼第2回研究会「日本の火縄銃に用いられた製造・加工技術の検証を催し、メーターや研究者ら50人超が参加した。銃に焦点を当て、金属組成や歴史的背か、非破壊分析のバリス中子による法など最新の技術について発表した。

「近代産業化への道」についての最新動向を報告した。火縄銃の歴史「火縄銃の歴史」(火縄銃の歴史)田中真幸子・フォーラム(東京芸大)は「文理融合型のフォロラムとして、その成果を産学連携により、活用していくことを目的としています」とフォーラムの趣旨を説明。今回は火縄銃について学術的成果を報告するとともに、日本における火縄銃の歴史、製造技術(藤安将平氏)を、実際に火縄銃の製作体験を話し、製造方法、当時の

新しい顔

岡井 哲氏

営業会計部・審査部・法務部担当、法務部長



「リスクをコントロールしつつ、M&Aなどのチャンスを会社の発展に結びつけていきたい」と抱負を語る。83年東大法卒、川崎製鉄入社。千葉・神戸・本

JFE商事(執行役員)

足時は経理部資金室長。資材部部長室長、法務部長などを務めてきた。営業は知らないため商社辞令には驚いたが、新たな挑戦ができる」と喜んで

労・財・法務から新分野

多様な製品を扱い、「社内でもかなり珍しい経歴」と自ら振り返る。200と笑顔で語る。

韓・現代製鉄

ハイスコと7月合併

韓国の現代製鉄は8日、現代ハイスコとの合併を決めたと発表し、5月28日の株主総会で承認を受け、7月1日に合併する。現代製鉄の高炉一貫製鉄事業と鋼管、鋼板の加工事業を手掛ける現代ハイスコの技術を融合

現代製鉄は昨年の上高が16兆7623億、営業利益が1兆4911億だった。現代ハイスコは売上高4兆2143億、営業利益3515億だった。現代製鉄は高炉3基の唐津製鉄所や仁川、浦項の電炉系鋼工場、順天の冷延薄板工場が主体で韓国以外に中国の無限軌道生産だけ。現代ハイスコは韓国で世界的な販売網の点で自動車鋼板の供給力を高める。

「2014年の改善策実行件数は2400件以上だった。操業改善や省エネ、品質改善などの対策が功を奏した。14年の改善策実行件数は2400件以上だった。操業改善や省エネ、品質改善などの対策が功を奏した。

メタルワンは7日、「メタルワン」を代表者

今回の「メタルワン」ワン菱和、サフテック、

クッキー缶第3弾「赤富士」販売開始

全日本一般缶工業団